



＜在福岡アメリカ領事館、福岡大学 共催 セミナー＞
パシフィック・フォーラム CSIS 若手研究者による講演と質疑応答

若者の視点から考える 次世代の日米同盟

●入場無料／日英同時通訳つき●

日米同盟は、日本と米国、および多くのアジア諸国にとって、地域の安全保障と経済的繁栄に中心的な役割を担っています。緊迫化するアジア地域の安全保障、昨年法制化された日本の安全保障関連法案や有事における日米の役割など、近年ではこの重要な日米パートナーシップを再定義する議論が活発に行われています。

このセミナーでは、アジア地域の安全保障における日米同盟の重要性とその役割、世界が必要とする次世代の「同盟」について考えます。パネルディスカッションでは、現在の安全保障環境を世界的な観点から鑑み、既存の同盟関係や将来への課題、国際平和の維持に必要な新たな日米同盟の枠組みなどを、次の世代を担う日米欧の若い研究者4人と共に討論します。

2016年9月

在福岡アメリカ領事館広報部

- 日時： 2016年10月13日(木) 午後2時40分～4時10分
- 会場： 福岡大学 A401 教室（福岡大学A棟）地図 <https://goo.gl/4AzCsx>
- モデレーター(司会進行):
ブラッド・グロッサーマン氏(パシフィック・フォーラム CSIS エグゼクティブ・ディレクター)
- 講師：(各講師の略歴は2 ページ目をご参照ください)
 - ① 井形 彬氏 (慶應義塾大学大学院 博士課程)
 - ② ローレン・ディッキー氏(キングス大学大学院 博士課程)
 - ③ エリック・フレンチ氏(シラキューズ大学大学院政治学部 博士課程)
 - ④ ミハ・フリベルニック氏(パシフィック・フォーラムCSISフェロー)



◎出席ご希望の方は、オンラインの申し込みフォーム(下記リンク)
<https://goo.gl/wjnue5> またはメール (FACprogram@state.gov) で、
在福岡アメリカ領事館広報部へお申込みください。
◎受講票は発行しませんので、セミナー当日は直接会場にお越しください。
(当日は満席となる可能性がありますので、早めに会場にご到着されることを
お勧めします。)





【 モデレーター(司会進行)と講師 略歴 】

<モデレーター>

ブラッド・グロッサーマン (パシフィック・フォーラム CSIS エグゼクティブ・ディレクター)

ジャパンタイムズ紙の論説委員を10年間務めたのち、現職。パシフィック・フォーラム CSIS で国際会議の企画や出版のほか、ヤング・リーダー・プログラムの責任者も務める。米国の外交政策とアジアの安全保障について多数の論文を執筆し、インターナショナル・ヘラルド・トリビューン、ウォール・ストリート・ジャーナル・アジア、ジャパンタイムズなどの各紙にも寄稿多数。BBC やアジア各国のラジオで定期的にコメンテーターを務めている。リード大学を卒業後、ジョンズ・ホプキンス大学高等国際問題大学院で修士号、ジョージ・ワシントン大学で法務博士号を取得。

<講師①> 井形彬(イガタ・アキラ)

慶應義塾大学大学院法学研究科後期博士課程在籍。ジョージタウン大学への交換留学(平和中島財団奨学生)を経て、国際基督教大学教養学部を卒業(クリス和田奨学生)。米国のコロンビア大学大学院政治学研究科より修士号取得(国費留学生)。平和・安全保障研究所安全保障研究奨学プログラム第15期生、日本国際問題研究所軍縮・不拡散促進センター研究員補、日本再建イニシアティブ・リサーチャー、パシフィック・フォーラム CSIS・SPF フェロー、ケンブリッジ大学アジア・中東研究科客員研究員(青井奨学生)、デロイト・トーマツコンサルティング客員研究員など、国内外の大学・シンクタンク・コンサルティングで研究活動を行う。専門は日本外交と安全保障政策、日米関係、東アジアの国際政治。

<講師②> ローレン・ディッキー

キングス大学戦争研究科博士課程およびシンガポール国立大学政治学部在籍。ワシントンDCでは外交問題評議会(CFR)リサーチ・アソシエートとしてアメリカ外交と東アジアの国防政策、経済政策を研究。CFR出版の研究書籍や著名な外交誌である The Diplomat、War on the Rocks、The National Interest、Defense One、Strife にも寄稿している。オレゴン州立大学(アジア研究・中国)、ロンドン大学アジア・アフリカ研究学院卒業。パシフィック・フォーラム CSIS ヤング・リーダーズ・プログラム所属。中国語を話す。

<講師③> エリック・フレンチ

シラキュース大学政治学部博士課程在籍。パシフィック・フォーラム CSIS ヤング・リーダーズ・プログラム所属。専門は冷戦後の日本、米国、中国のアジア太平洋戦略。笹川平和財団フェローとして、抑止戦略から世界経済ガバナンスなど、幅広い分野で論文を執筆。シラキュース大学とアメリカン大学で国際関係について教える。戦略分析を専門とするウィキストラット社やグローバル・リスク・インサイト社などで執筆活動も行っている。コールゲート大学卒業(歴史、政治学専攻)、シラキュース大学政治学部より修士号取得。アウトドア・アクティビティや武道を趣味とし、日本の柔術やムエタイにも造詣が深い。

<講師④> ミハ・フリベルニック

パシフィック・フォーラム CSIS フェローおよびロンドンを拠点に戦略的予測を専門とするメープルクロフト社分析官。前職はヨーロッパ・インスティテュート・フォー・アジア・スタディーズの研究コーディネーターとしてブルッセル、ワシントンDC、ウィーンなどに在住した。近年は日本の安全保障政策と東南アジア諸国との海賊対策への役割を研究し、著名な外交誌である The National Interest や The Diplomacy にも寄稿している。パシフィック・フォーラム CSIS が定期出版する政策ブリーフィングにも日韓の戦略的協力について寄稿した。リュブリャナ大学卒業(国際関係学)。ブリストル大学より修士号取得(国際安全保障)。